

# 幕張支部 優勝をかざる

## 勤労千葉 第2回 ソフトボール大会

白熱したミニ・ソナーゲームを展開！

準優勝「津田沼」。

秋期・反戦闘争第一波、第二波と果敢に闘い抜いた勤労千葉秋季ソフトボール大会は、一月一五日、幕張グラウンドにおいて、本部を含めた八チーム、約一五〇名が参加しファイナル、ボンプレー続出という白熱した試合が展開され成功裡のうちに終了した。九時過ぎ、始められた開会式は、全選手が集まる中、関川委員長の挨拶、前回優勝の成田支部川島主将より優勝杯返還、準備支部白井幕張支部長の挨拶に続き、第一波、第二波闘争を最先頭で闘い抜いた成田日暮支部長の気力のこもった選手宣誓をもって、熱戦の火ぶたは切っておとされた。

蘇我―幕張で白熱戦を展開



### 一回戦

新小岩	2	0	0	2	3	2	0	9
成田	0	0	1	0	4	0	1	6
津田沼	4	5	1	0	4	1	4	15
本部	0	0	0	1	2	0	2	5
蘇我	0	0	1	2	0	0	2	5
幕張	0	0	3	0	1	1	0	5

※ 大会ルールにより、九人のジャンケン勝負。  
 5対3で幕張の勝となる。

最終回、津田沼は2死からの1点によりサヨナラ勝ち。

### 二回戦

千葉転	0	0	0	0	0	1	1
幕張	4	0	1	4	0	8	17

一回戦で幸運を捨てた幕張は、着実に得点し、6回には大量8点をもぎりと、試合を決したが、6回、千葉転は必死の1点をもぎとり、完封をのがれた。

### 決勝

幕張	0	0	2	0	5	3	10
津田沼	2	1	1	0	2	1	7



初優勝に燃える津田沼は、初回2連打で2点を先取、2回にも2塁打などで1点をとり、3回にも1点を加え一気につっ走った。これに対し幕張は、3回3本の安打で2点を返し、熱戦となったが、5回、本塁打、エラーをからめ2点を追加、試合を決した感があった、しかし粘る幕張は、5回裏長短5本を連発、5点を奪取、逆転に成功したが、その裏、タイムリ

### 準決勝



津田沼	3	0	0	0	4	0	1	8
新小岩	2	0	0	0	0	1	4	7

一回安打とエラーで2点先取の新小岩、その裏津田沼は長短3連打で逆転、2回からの投手戦は実力伯仲し、5回津田沼の集中安打で一挙4点、どたん場で気力をふりしほった新小岩支部だったが、

組合員・家族の積極参加でサークル活動を盛り立てていこう。

お知らせ

● 勤労千葉 囲碁・将棋大会 11月24日(土) 動力車会館10時

● 勤労千葉 フナつり大会 12月3日(月) 栗山川又は、鹿島川 現地7時集合



準備支部の重責を果たした上、見事優勝をもぎとった幕張チーム。賞状をうける白井支部長

1で同点に追いついたが、6回ソロホームランとる連打で一挙3点をとり見事優勝をかざった。

優勝 幕張支部  
 準優勝 津田沼支部  
 第三位 新小岩、千葉転両支部  
 最高殊勲賞 鈴木正晴(幕張)  
 敢闘賞 渡辺敏博(津田沼)

秋期ソフトボールは、寒風吹きすさぶ中、各試合ともこれをふきとばす熱気と気迫のもと、「攻」「守」ともに妙味が随所にみられ白熱した試合が行われた。

さらにわれわれは、多くの組合員・家族を含めて気軽に参加できるサークル活動として、活発に展開してゆくとともに、勤労千葉の組織的強化と発展をかちとってゆこう!